

JCI-TC-155A 建設分野へのジオポリマー技術の適用に関する研究委員会  
第11回幹事会\_議事録

日 時：2017年2月3日(金) 13:30～16:00

場 所：JCI第3会議室

出席者：(委員長)一宮, (幹事長)新, (幹事)畑中, 原田, 合田

欠席者：国枝

配布資料：K11-0 第11回幹事会\_議事次第

K11-1 第10回幹事会\_議事録(案)

K11-2 委員名簿

K11-3 別紙1\_報告会等開催計画書\_研究委員会\_ジオポリマー研究委員会

K11-4 WEBマガジン「月刊コンクリート5月号」の本委員会記事(案)

K11-5-1 WG1関連資料：WG1議事メモ

K11-5-2 WG1関連資料：GP委員会中間報告

K11-6-1 WG2関連資料：WG2議事メモ

K11-6-2 WG2関連資料：GP共通試験方法

K11-6-3 WG2関連資料：共通試験配合例

K11-7 報告書(案)170203版

## 議事

### 1. 委員長挨拶

一宮委員長より挨拶があった。

### 2. 第10回幹事会\_議事録の確認

新幹事長より,【配布資料K11-1】に基づいて資料内容の確認が行われた。

### 3. 最終報告会の予算計画

新幹事長ならびに事務局柴田氏より,【配布資料別紙1】に基づいて開催計画について説明があった。

・日時：2017年9月29日(金) 10:00～16:30

・場所：品川区立総合区民会館 きゅりあん 小ホール(東京都品川区東大井5-18-1)

・プログラム： 第一部 WG成果報告

第二部 研究発表会

第三部 特別講演(Prof. J. Davidovits)

・収入予想：約¥1,570,000

・支出予想：会場費等約90,000, 資料¥274,000(300部), 交通費¥500,000, その他¥156,000, 事前会議費¥500,000

・講演報酬は考慮していない。

・報告書は印刷版とし, PDF他の電子データ形式で配布または公開を行わない。

- ・第1稿5月末、最終稿8月末を予定している。
- ・論文発表は構成を鑑みた上で実質指名制とする。

【配布資料 K11-7】に基づいて、報告書について意見交換を行った。

- ・目次に従って、各節を WG1～WG3 に適宜分担させる。

【配布資料 K11-4】に基づいて、ウェブマガジンについて説明があった。

- ・ジオポリマーの生成物の顕微鏡画像かイメージを掲載すると良い
- ・講習会を最終報告会に修正

【配布資料 K11-5-1】に基づいて、WG1 の活動内容について説明があった。

- ・ジオポリマーの定義について、生成物の性質(終点)ではなく材料(出発点)をベースに定義づけする。
- ・実学に即した内容を目指す。
- ・Prof. Davidovits のテキストを基に新しい情報を付け加える。
- ・日本と海外の FA の相違を明確にする。
- ・ジオポリマーの変遷について紹介する。

【配布資料 K11-6-1】に基づいて、WG2 の活動内容について説明があった。

その他、意見交換でのコメントを下記に示す。

- ・WG の成果報告は中間報告会の形式を参考にする。
- ・研究発表の実施方法については引き続き検討課題とする。
- ・研究発表の発表時間は中間報告会に倣って発表 10 分質問コメント 5 分とする。
- ・Prof. J.Provis が諸事情により来日できないため、Prof. J.Davidovits に講演依頼し快諾された。
- ・特別講演については、80 分程度(質問コメント含む)を目安とする。
- ・旅費謝金について、適宜調整を図り、Davidovits 氏に失礼のないよう適切に対応する。
- ・控室として楽屋があるものの、Davidovits 氏の対応が可能なようにホテルや応接スペースの手配を行う。なお、対応は一宮委員長が行う予定とする。

#### 4. 委員会報告書の目次（案）の検討

一宮委員長より、【配布資料 K10-4】【配布資料 K10-5】に基づいて報告書目次について審議した。

- ・全体で 200 ページ程度を目安とする。
- ・執筆担当は WG に関わらず、作業量も考慮して決定する。
- ・本委員会報告書目次(案)に JCI 九州支部の報告書内容を振り分けながら、イメージの共有を図る。
- ・J. Davidovits 氏著の GEOPOLYMER(4<sup>th</sup> Edition)に記載された内容を適宜引用しながら、国内外の知見をとりまとめる。調査文献については、各章節で内容を紹介しながら、巻末付録に文献一覧を掲載する。
- ・製造施工に関する内容については、今春のデルフト工科大での RILEM 委員会の内容やジオポリマー研究所の HP (GEOPOLYMER Wabinar) を参照しながら、建設材料のみならず幅広くと

りまとめる方針とする。

#### 5. WG の活動報告

【WG1】反応機構（主査：新幹事長，副査：橋本委員）

- ・2017年1月から月1回の頻度でWGを開催予定。報告書では網羅すべき内容が広範囲にわたりボリュームが多くなることが予想される。

【WG2】力学特性・耐久性・構造（主査：国枝幹事，副査：佐川（康）委員）【配布資料 K10-6】

- ・共通実験について，11機関が参加予定で，実験方法について最終調整中である。

【WG3】製造・施工（主査：原田幹事，副査：合田幹事）

- ・11月17日にWGを開催した。
- ・製造施工の資料収集ならびに，国内外の文献調査(JCI, 土木学会, 建築学会など)を取りまとめ中。12月中に終了予定とする。

#### 6. 今後の予定ならびに予算の執行計画

研究専門委員会(TC155A)		研究委員会(委員長出席)	
H28.11.17	WG3 打合せ	H28.10.13	第103回 研究委員会
H28.12.19	第10回 幹事会		
H29.03.07	第12回 幹事会(最終) 第6回 全体委員会(最終)	H29.02.13	第104回 研究委員会
H29.09.29	報告会(きゅりあん, 大井町)		